

「川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境100年史」の公開

Publication of the 'Kawasaki City Digital Archive: 100-Year History of Kawasaki Environment'

加藤 あゆみ KATOH Ayumi

甲 啓雄 KABUTO Hiroo

鈴木 英幸 SUZUKI Hideyuki

要旨

環境総合研究所では、前身の公害研究所の時代から環境に関する調査・研究を行っており、これまで在籍してきた職員が撮影した写真等の資料を多数保管している。今回、これらのアナログ資料をデジタル化したものを公表することにより、市民一人ひとりが環境の歴史を振り返り、環境課題を自分事として捉え、本市の環境に対する誇りを育み、脱炭素社会のさらなる実現に向けたきっかけづくりとするべく、ウェブサイト「川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境100年史」を開設した。

ウェブサイト URL : <https://www.digital-archive-env.city.kawasaki.jp/>



キーワード：デジタルアーカイブ、歴史、継承

Key words: Digital Archive, History, Inheritance

1 はじめに

当研究所では前身の公害研究所の時代から環境に関する調査・研究を行っており、これまで在籍してきた職員が撮影した写真を多数保管している。これらの一端は環境総合研究所のアーカイブスペース(図1)においてタペストリー展示として公開しているが、2024年の川崎市制100周年及び環境総合研究所の前身である公害研究所完成から50年が経過したことを契機として、これらの資料をより多くの市民等が閲覧できるよう、デジタル化したアーカイブの構築に向け取組を進め、今回公開するに至った。ここでは、このデジタルアーカイブの公開に至るまでの経緯や内容、今後の取組について紹介する。

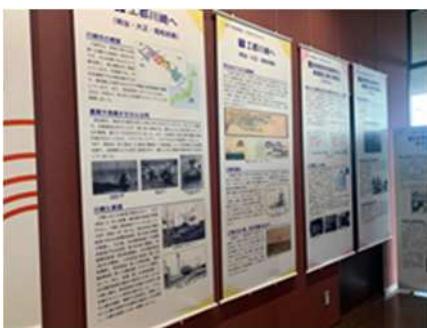


図1 環境総合研究所アーカイブスペース

2 事業内容とねらい

現在本市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて溝口エリアが脱炭素先行地域に選定され様々な事業が進められるなど、先進的な取組を進めているところであるが、これまでの川崎市を見ると、宿場町から工業都市へと発展する中で起きた公害問題や、焼却するごみの量が増えごみ焼却施設がひつ迫(図2)するなどの環境課題の改善に取り組んできたことから、その過程で蓄積してきた次世代に継承すべき資料が数多く存在している。

今回、これらの貴重な資料をデジタル化し公表するこ

とにより市民一人ひとりが環境の歴史を振り返るきっかけとなり、環境課題を自分事として捉え、本市の環境に対する誇り(環境シビックプライド)を育み脱炭素社会のさらなる実現につなげていくため、ウェブサイト「川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境100年史」を開設した。

本アーカイブは、環境総合研究所所蔵の写真(図3)のほか、過去の市政だより(環境関連)のスクラップ記事(図4)や、市民ミュージアム所蔵の写真(図5)、環境局の広報誌「環境情報」の前身である「公害情報」(図6)をデジタル化したものを1,560点掲載(2025年9月30日時点)しており、さらに年代やカテゴリー別に検索することができるものとなっている。



図2 ごみ非常事態宣言



図3 環境総合研究所所蔵写真



図5 市民ミュージアム所蔵写真

図4 市政だよりスクラップ記事



図6 公害情報記事

3 デジタルアーカイブの構築に向けて

前述のとおり、本アーカイブには環境総合研究所や市民ミュージアムの写真のほか、市政だよりのスクラップ記事なども掲載しているが、これらは全て本市職員が1枚1枚写真や記事を確認し選定を行ったものである。選定にあたっては、環境局でプロジェクトチームを立ち上げ、チームの職員が通常業務の傍らそれぞれ作業を行った。そして、選定された写真や記事を、民間の印刷業者に委託し専門のスキャン機能などを用いてデジタルデータ化した。この結果、掲載しているデジタルデータの中で一番古いものは1954年の市政だよりのスクラップ記事となるが、高精細なスキャン技術により、一文字ずつ鮮明に閲覧することができるようになっている。

また、それぞれの写真には簡単な解説を付しているが、多くの写真は年代が古く現役の職員では判断がつかないものが多かったため、主に環境行政に携わってきた本市退職職員へ依頼し解説文作成に協力してもらった結果、実現できたものとなっている。

4 デジタルアーカイブの構成

デジタルアーカイブのサイトトップページ（図7）には、30秒で本市の環境の歴史を振り返る内容の動画を掲載している。この動画の長編版（約14分）は環境総合研究所の公式YouTubeチャンネルで公開している。動画の下の写真は、実際にデジタルアーカイブに掲載している写真を何枚か選定しスライドショーをしているものである。なお、写真をクリックすると、アーカイブのページに遷移する。

トップページの下にある「川崎市環境課題への取組のあゆみ」（図8）は、「明治・大正」「昭和」「平成・令和」「未来に向けて」と時代ごとに分け、これまでの環境の歴史を振り返るページとなっている。デジタルアーカイブの検索（図9）は、「大気」や「水質」などの分野や、年代などから写真を検索することができるものとなっており、それぞれをクリックするとクリックすると、アーカイブページ（図10）に遷移し、掲載写真一覧を確認することができます。



図7 デジタルアーカイブトップページ



図8 川崎市環境課題への取組のあゆみ



図9 デジタルアーカイブ検索

川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境100年史データベース

検索トップ > 検索結果一覧
検索条件[分類:大気]で305件ヒットしました。11件目～20件目を表示しています。

並べ替え ▼ | 10 ▼ | 件ずつ表示 | ●文字画像一覧 | ●画像一覧 | ●文字一覧 | 印刷 | 《前へ 2/31 次へ》 | 《最後》

	測定装置 資料No: A000011 分類: 大気 解説文: 測定装置 年代: 1976		測定装置 資料No: A000012 分類: 大気 解説文: 測定装置 年代: 1976		真空ポンプで液体採取が可能か調べているところ。 資料No: A000013 分類: 大気 解説文: 当時、酸性雨の原因物質が解明途上で有機化合物の可能性がとりざなされた。その点では実験のある真空ポンプ利用の可能性を調べているところ。注射器の中に微量のアルコール等が詰め込まれてある。 年代: 1976
	先の微量アルコールを真空ポンプの立筒部分に気化させる条件をしづらべているところ。 資料No: A000014 分類: 大気 解説文: 実際には、気化はするが、その濃度を分析すると再現性が悪かつた。また、試料には水分が多く含まれ		各種の大気汚染物質自動測定器 資料No: A000015 分類: 大気 解説文: これらは、実時監視するモニタリングポストなどに配備され、汚染の状況をリアルタイムで測定した。 年代: 1976		光化学スモッグ原因究明のための上空調査の準備 資料No: A000016 分類: 大気 解説文: 調査飛行機から上空の汚染物質の状況を調べるために飛び立つところ。 年代: 1976

図10 デジタルアーカイブ掲載データ一覧ページ

5 おわりに

これらの写真等の資料は、川崎が歩んできた環境の歴史であり、次の世代に引き継ぐべき貴重な財産である。今回、紙媒体のまま保管されてきたこれらの財産をデジタルデータ化しウェブサイトで公開したことにより、この歴史をより確かな形で次の世代に継承する基盤を築くことができた。

今後は、本アーカイブを教育現場で活用することを想定し教育委員会へ働きかけるとともに、2025年度以降は、掲載する写真資料等を市民・事業者から公募し、引き続きコンテンツを拡充していくことを予定している。こうした取組を通じて、市民・事業者一人ひとりが環境シビックプライドを持てるようになり、脱炭素社会のさらなる実現に向けたアクションを起こすことにつなげていきたいと考えている。

6 謝辞

本アーカイブの構築にあたり、掲載写真の解説文等作成に関して、NPO法人環境研究会かわさきの井上俊明氏、吉川サナエ氏、林久緒氏、田辺秀敏氏、柴田幸雄氏には多大なる御協力をいただきました。ここに深謝の意を表します。